

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

適正な利益水準を保持しつつ、資産価値の高いマンションを継続供給し、堅実な成長を実現する

売上高
11,000百万円

営業利益
650百万円

経常利益
750百万円

空室率
3%台

② 中長期の経営戦略

1. ファミリーマンション仕入

福岡都市圏に限定せず広域リサーチ。顧客層を意識した価格設定で高付加価値物件を供給

3. 賃貸管理事業拡大

管理戸数増加と流出防止。賃貸募集の早期完了と空室率3%台維持に注力

2. 資産運用型販売強化

販売力強化と販売方法の多角化。顧客利益重視とコンプライアンス優先を基本に長期顧客拡大

4. ビルメンテナンス強化

工事請負案件増加と人材増強。管理物件増加に対応しサービス品質向上と適正管理料確保

③ 対処すべき課題

① 建築コスト上昇への対応

- ・ 建築資材価格高止まり、人件費上昇で販売価格引き上げ余儀なく
- ・ 住宅ローン金利上昇による顧客負担増に対応した柔軟な商品企画が必要
- ・ コンパクトマンションなど高付加価値物件開発による需要喚起

② 資産運用型の価格バランス

- ・ 福岡市の人口は2040年まで増加見通しで賃貸需要は増加傾向
- ・ 設定賃料と販売価格のバランスを重視した慎重な価格検討が必要
- ・ 利回り設定などを詳細に検討し無理な仕入を避ける

③ 人材育成と組織体制整備

- ・ 販売物件増加に備え人員増と育成に取り組む
- ・ 人材の多様化と能力発揮できる職場整備
- ・ リスキリング支援で新チャレンジ企業風土を醸成

面接で使えるポイント

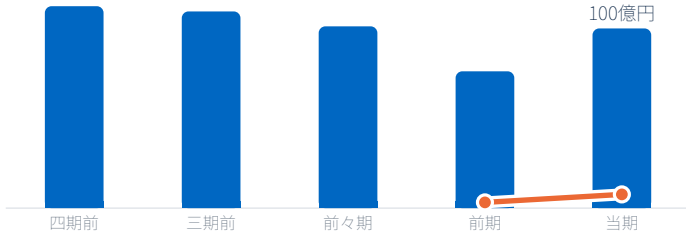
- ・ 2027～2029年度の3ヶ年中期経営計画で売上高11,000百万円達成を目指す成長戦略
- ・ 福岡都市圏だけでなく広域リサーチと首都圏開発で地域を拡大する企業姿勢
- ・ 顧客利益重視とコンプライアンス優先を営業基本方針にする誠実性と堅実性

株式会社コーセーアールイー

不動産業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 1月31日 ...

証券コード 3246

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
100億円

営業利益率
7.7%

財務健康度
54点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 49.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
615万円
不動産業内 90位/130社

平均年齢
41.5歳
不動産業内 46位/131社

平均勤続
8.8年
不動産業内 36位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

株式会社コーセーアールイー 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

